



# 木曾川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2024年3月10日(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:5名

指導員:5名

## テーマ 早春の花と動き始めた虫

今年の桜の開花は早いとの予報ですが、春咲く花のすべてが早いという訳ではないようです。昨年3月12日のこの観察会の記録を見るとハクモクレン、コブシ、アメリカハナノキが咲いていましたが、今年は蕾が膨らみあと2日もあれば咲きそうなハクモクレンを除いて蕾が固く、これらの木の花が咲くまでにはしばらくかかりそうです。

管理棟横では淡いピンク色のベニバスモモの花が咲き始めていました。5枚ある花弁の先端を見ると、先が切れ込む桜や尖る桃とは異なり、丸い形状の梅タイプです。

高水敷では淡黄色のトサミズキの花が咲き始めていましたが、花付きは今一つといった感じです。よく見ると、昨年の実が残っている枝にはほとんど花芽が見られません。

大野極楽寺公園のサンシュユの木でも同じような現象が見られました。干ブドウ状態の実が残った枝では花が咲いていませんでした。これまでも同じようなことが起こっていたのかどうか記憶にありません。

草本も、キランソウやヒメウズの花が咲き始めていました。

この日は伊吹山や養老山系が白く雪化粧し、冷たい風が強かったせいでしょうか、虫はほとんど飛ばず、モンキチョウとハナアブの仲間が見られた程度でした。

野鳥は、春らしいウグイスやシジュウカラの囀りが聞かれました。例年だと北帰りに備えてツグミが群をつくる頃ですが、なぜか数も数なく単独行動をしていました。南派川にはオカヨシガモの群が見られましたが、アオジやジョウビタキなど冬によく見られる鳥の姿は少なめでした。大野極楽寺公園には珍鳥のニシオジロビタキが飛来しているということで、写真を撮りに来ている人がいました。(通りかかった時には出現せず残念!)

野鳥園の奥の林からはオオタカらしい鳴声がありました。2年ぶりの営業を期待したいものです。

(報告:齋竹)

### <その他観察できたもの>

花:ニホンタンポポ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、オランダミミナグサ、コハコベ、ナズナ、ミチタネツケバナ、ユキヤナギ、シナレンギョウ、ミヤマウグイスカグラ、ボケ

鳥:トビ、カワウ、ダイサギ、オオバン、カワアイサ、マガモ、カルガモ、キンクロハジロ、キジ、キジバト、ドバト、モズ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、メジロ、エナガ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シロハラ(声)



(トサミズキの花を観察しているところ)



咲き始めたトサミズキ



梅タイプのベニバスモモの花弁



キランソウ



モンキチョウ